

俣郷

～須木中校歌より～

須木中学校通信 第37号 (最終号)

平成28年3月25日発行 文責 寺原

確かな学力・豊かな心・健やかなからだをもち、
未来をたくましく生き抜く生徒の育成

さまざまの事思ひ出す 桜かな

松尾 芭蕉

すっかり春めいて参りました。いよいよ命の息吹がそこかしこに現れ始めます。

三年生がいよいよ学校は、やはりどこか寂しいものです。しかし、二週間もすれば、新しい年度になり新一年生も入学してきます。平成二十八年度はもう間近です。

卒業生は、日頃の努力の成果が現れ、全員自分の希望する高等学校へ進学することができました。きつと今頃は、新しい生活に備え着々と心の準備をしているに違いありません。

今年はこの通信を通じて、「命」「言葉の力」「気づき」「集団の中での役割」「意味を考える大切さ」などを伝えたいと思い発行してきました。特に今年度は、皆さんに読む力がついてくれればいいなと思います。少し長い文章を書きました。

「現状維持は、後退に等しい」

これを人と言うからには、私自身も少しずつでも前進したいと思いつながらの一年間でした。本校の卒業生は、君たちが在校生に、確実に道を拓き続けています。私たちが、その道をさらに広く、長くしていかなければいけません。

平成二十八年度も、そういう意識で学校生活に取り組んでほしいと思います。

保護者の皆様、前年度の反省を踏まえながら、この一年学校運営に取り組んで参りました。達成が不十分な点や至らないところがあったと思いますが、ご理解とご協力ありがとうございました。

いろいろな会合で話題になっているように、須木中もやがて、ターニングポイントがやってくると思われれます。しかし、後退ではなく前進のため、**それであじたいと思いません。**

次年度も「**須木中で学んでよかった**」と思えるような学校づくりに邁進する所存です。一年間、ありがとうございました。

《学校評価をお知らせします～次年度のために》

先日学校運営協議会を行い、委員の皆様より本年度の取組等についての評価をいただきました。すでにまとめておりました自己評価（保護者・生徒・教師の評価の総合）と合わせて、平成27年度の学校評価結果を報告します。この評価結果をもとに、次年度の学校経営の方向性を下のよう考えています。

(4点満点)

	知育	徳育	体育	食育	資質向上
自己評価	3.5	3.5	3.5	3.5	3.0
学校関係者評価	3.9	3.4	3.6	3.8	3.8
H27総合評価	3.7	3.4	3.5	3.7	3.4

※ 表中の「資質向上」は、教師の資質向上の取組

＜学校関係者評価コメント＞

知育：個別指導の取組を家庭・学校・子どもの連携プレーでやっている。現状を学校と家庭で共有し続けて欲しい。
徳育：「整理・整頓」と「ものを大切に作る心」を育てて欲しい。地区での挨拶が今一歩と感じる。
体育：体育の授業では効果が出ている。部活動の在り方を考えていく時期にきていると感じる。
食育：弁当の日を増やしてもよいのではないか。食育に対する地域の協力は惜しまない。

《次年度の学校運営の方向性》

- 1 学級数減に伴う学校の体制や生徒の実態に応じた経営を行う。
- 2 「学力向上」を中核におき、分かる授業を行うため授業力向上に努める。
- 3 本年度に引き続き「キャリア教育の視点」を意識した教育活動に努める。
- 4 「地域に貢献し、地域に発信する」教育活動の充実に努める。
- 5 「本物に触れる機会」を教育計画の中に位置づける。

須木の図書館に、今年度分の生徒の作品を追加しました。ご覧になって下さい。

《お礼を申し上げます》

本年度末の定期異動により、本校も数名の職員の入れ替わりがあります。

本来なら、転出する職員一人一人が、お礼とご挨拶をしなければならないところですが、異動が決定してから、次の任地へ赴任する時間が限られており、事情が許しません。

この場をお借りして、これまでいただいたご厚情に対しまして、学校を代表してお礼を申し上げます。ありがとうございました。

学校長